

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
53	B-07003701	男性	30歳代	不明		痙攣	不明	リン酸オセルタミビル服用後、意識消失、痙攣発現。
54	B-07003702	男性	10歳未満	22.5mg		痙攣	未回復	インフルエンザ迅速検査陰性であったが、インフルエンザ罹患の可能性も考え、リン酸オセルタミビル処方。 また急性中耳炎治療後でもあり、滲出性中耳炎化も考慮し、抗菌薬等処方。 投与開始2日目、本剤2回目服用後、突然痙攣が始まり、緊急入院。なお、家族が本剤以外の併用薬は服用させていなかった。
55	B-07003777	男性	20歳代	75 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。 翌朝、本剤服用後、意識障害、痙攣発現。一過性で10秒後に回復。
56	B-07003778	女性	40歳代	75 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 投与開始2日目、朝、自宅トイレにすわりこみ、床に頭を何度打ちつけているが、自分で止めることが出来ない。それが2回続いた。その後、意識(記憶)なし。家族の呼びかけで意識を取り戻す。
57	B-07003787	男性	10歳代	150mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキシール d-マレイン酸クロルフェニ ラミン ドンペリドン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用約2時間後、2回嘔吐あり。 投与開始2日目、朝、39.5℃。本剤服用。服用約4時間後から食欲低下あり。恐れる、泣くといった異常行動発現。普段はめそめそする性格ではないが、些細なことでめそめそして泣く。 投与開始4日目、再受診。35.6℃。副作用と思われる精神症状が認められたため、夕方の分より本剤投与中止。異常行動回復。
58	B-07003968	男性	10歳未満	不明		幻覚 失見当識	不明 不明	インフルエンザA型に対し、リン酸オセルタミビル服用。幻覚及び失見当識(父親を判別できない状態)が数時間発現。
59	B-07004082	女性	10歳未満	56 mg		恐怖 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型との診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用約2時間後、壁を見て「こわい、こわい」と怯えるため再診して入院。インフルエンザの熱せん妄の可能性もあり、入院しながら服用し、経過観察する方針で本剤28mg再投与。再び2時間後、「こわい、こわい、虫がいてる、やっつけて」と15分間怯えため、本剤中止。30分後、意識清明。(熱は39℃あった)

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
60	B-07004165	男性	40歳代	150 mg	アセトアミノフェン リン酸コデイン(1%以下)	意識消失	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸セルタミビル、アセトアミノフェンを服用。夕方、電車の中にて意識消失発現。目撃者の話「白眼をむいて意識なし。数分で完全回復」。救急車にて搬送。到着時回復。CT正常化。 翌日、意識消失回復。
61	B-07004232	女性	50歳代	1 DF	塩酸フェキソフェナジン 臭化水素酸デキストロメ ルファン テプレノン	血圧低下 意識変容状 態	回復 回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕、本剤服用後、咳がひどく痛くなった。体温は39℃台から36℃台に速やかに低下。夜、突然意識を失って転倒。家族が呼んでも反応なし。救急隊到着時、血圧低下、意識障害あり。外来到着時、血圧が低下していたが、徐々に上昇。まもなく覚醒したが、見当識障害が強くベッドからころげ落ちそうになるほど。明らかに異常行動の危険があると判断されたため、入院・経過観察とした。その後、3～4時間で全く普段通りに戻った。服用から2日目、血圧低下、意識障害回復。インフルエンザ軽快。

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06025952	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン D-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	18:00インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。翌3:00、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 [3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117に同じ]
2	B-07000062	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38℃の発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。その場で服用。9時間後、2回目服用。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったところ呼吸をしていないのに気づき、救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。 死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。
3	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。 (合併:急性骨髄性白血病)
4	B-07000103	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ピオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2℃の発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0℃。点滴治療を行い症状軽快。食事も摂れた。数時間後、嘔気軽快。 服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行うもなくなったとのこと。
5	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。 [異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)(その2)No.28に同じ]

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-07000195	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39℃の発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9℃、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。ゲル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。腹部所見は前日と同様。月経痛で腰痛もありとの訴えあり。投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり。気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。
7	B-07000196	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンプロキシソール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物 アセトアミノフェン	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。
8	B-07000230	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。夕方、本剤服用。その後、就寝。30分後、トイレ。1時間半後、うつ伏せで寝ていた。ぐったりしていて反応なし。病院に救急搬送されるも死亡。
9	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。 [異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)(その2)No.70に同じ]
10	B-07000268	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。
11	B-07000269	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5℃。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリアージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。

死亡症例一覧(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
12	B-07000271	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。
13	B-07000407	女性	60歳代	75mg		突然死	死亡	インフルエンザ感染症に対し、リン酸オセルタミビル処方。死亡。突然死の疑い。
14	B-07000599	女性	60歳代	150mg		白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、白血球減少が発現。肺炎増悪。同日死亡。
15	B-07001280	男性	40歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。翌日、患者宅を家族が向かい倒れていることを確認。他院へ搬送され、死亡確認。(本剤を服用していたか確認できず)
16	B-07001284	男性	30歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザ陰性であったが、リン酸オセルタミビル服用開始。服用4日目、具合が悪く、病院へかかろうとして車を運転し、その途中で交通事故となる。救急車が到着した時にけいれんを認めた。搬送時もインフルエンザ陰性であった。

死亡症例一覧(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001363	男	20歳代	150mg		突然死	死亡	リン酸オセルタミビルを投与。その後、突然死。
2	B-07003970	男性	10歳未満	不明		出血性ショック	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビルの投与を受け帰宅。帰宅後は発熱時に解熱剤を使用し、計2回、本剤服用した。未明、母親が男児の寝息のないことに気づき、救急要請。到着時、心肺停止状態。病院に搬送され、心肺蘇生術を施行。 翌朝、一時的に心肺再開したが死亡。死因不詳。死後約14時間後で司法解剖を行う。〔剖検所見〕腹腔内に暗赤色の流動血と凝血を約55mL認めた。胃内に暗赤色血液と凝血約20mLを認め、胃体上部は約6cmに亘り薄く軟化(操作中に損傷)、小腸、結腸内に暗赤色血液の充満を認めた。肺は含気泡沫の圧出は常、表面に溢血点を認めない。咽頭に浮腫を認めない。脳は実質的内出血、腫脹を認めない。

